

**(1) 共産主義者同盟(共産主義の旗)・関係**

- 共産主義者同盟(共産主義の旗)**……………**61年**・田川和夫・栗本伸一  
機関紙「共産主義の旗」第1号～11号(共産主義者同盟(共産主義の旗)1961～)
- 日本共産労働党**……………**62年**・委員長一田川和夫  
機関誌『共産主義の旗』1号～〇号(日本共産労働党…)  
機関紙「プロレタリア革命」第1号～〇号(日本共産労働党1961…)  
『共産主義的实践をおしすすめよう! 経済主義者黒田派の様々な空文句的主張への批判』(日本共産労働党政治局1962)
- 全国社会科学研究会(全国社研)**……………**63年**・栗本伸一  
機関誌『科学的共産主義研究』第1号～30号(全国社会科学研究会1964～1971)  
機関紙「火花」第1号～〇号(全国社会科学研究会)
- マルクス主義労働者同盟(マル労同)**……………**72年**  
機関誌『科学的共産主義』第31号～〇号(マルクス主義労働者同盟1972～1987)  
機関紙「火花」〇～636号(マルクス主義労働者同盟)  
『新たな労働者党の建設をめざして 吉岡直人遺稿集』(マル労同政治局・全国社研社1974)  
『革命的社会主義の旗をかかげて マル労同は選挙闘争をどう闘うか』(マル労同1975)
- 社会主義労働者党(社労党)**……………**84年**  
機関誌『科学的共産主義』〇号～71号(社会主義労働者党・全国社研社)  
機関誌『労働と解放』第1号～20号(社会主義労働者党・全国社研社1987～1991)  
機関紙「変革」第1号～166号  
機関紙「週刊労働者新聞」(「変革」改題)第167号～527号  
機関紙「海つばめ」第528号(「週刊労働者新聞」改題)～第892号
- マルクス主義同志会**……………**02年**・社労党の改組  
機関誌『プロメテウス』第1号～57号(マルクス主義同志会・全国社研社1991～)  
機関紙「海つばめ」第893号～1298号(マルクス主義同志会・全国社研社2002～)
- 労働の解放をめざす労働者党(労働者党)**……………**16年**・マルクス主義同志会の改組  
機関誌『プロメテウス』第58号～(2017～)  
機関紙「海つばめ」第1299号～(2017～)  
『栗本伸一(林 絃義)評論集 我々の闘いの軌跡』(全国社研社1979)  
『林 絃義著作集』全6巻(全国社研社1998)  
『哀惜の樺美智子 60年安保闘争獄中記』(林 絃義・三一書房1997)
- 新しい労働者党をめざす全国協議会**……………**92年**・社労党の分派  
機関紙「ワーカーズ」第1号～〇号
- ワーカーズ**……………**阿部治正**・全国協議会の分裂  
機関紙「ワーカーズ」第〇号～
- ワーカーズ・ネットワーク**……………**全国協議会の分裂**

●**ワーカーズ・ネットワーク**……………**阿部治正・04年・ワーカーズ+ワーカーズ・ネットワーク**

機関誌『コムネット』第1号～9号(共産主義ネットワーク 2001～)

機関紙「ワーカーズ」第〇号～358号(ワーカーズ・ネットワーク 2006～)

『アソシエーション革命宣言』(浜野真一・阿部文明・飯島 廣・社会評論社 2010)

●**革命的社会主義運動・グループ95**……………**全国協議会の分裂**

●**社会主義連盟(酒井雅巳)**……………**グループ95の改称**

機関紙「ひらく」第1号～

『自由な共同社会を・社会主義連盟第三次綱領草案』(グループ95・2009)

●**赤星マルクス研究会(横井邦彦)**……………**社労党の分裂**

WB「労働者のこだま」第1号～(→「アーリーバード」→「労働者のポチタ」赤星マルクス研究会 2004～)

WB「労働者の新世界」～

**(II)東京系ズント・関係**

『民主主義の神話-安保闘争の思想的総括』(吉本隆明、谷川 雁・現代思潮社 1960)

『擬制の終焉』(吉本隆明・現代思潮社 1960)

『自立の思想的拠点』(吉本隆明・徳間書店 1966)

『吉本隆明全著作集 13 政治思想評論集』(吉本隆明・勁草書房 1969)

『原点が存在する』(谷川 雁・弘文社 1958)

『工作者宣言』(谷川 雁・中央公論社・文庫 1959)

『戦闘への招待』(谷川 雁・現代思潮社 1961)

『赤い風船あるいは牝狼の夜』(犯罪者同盟編 1963)

『鞭打人宣言』(平岡正明・現代思潮社 1964)

『世界資本主義』(岩田 弘・未来社 1964)

『マルクス経済学入門 資本主義とは何か』(岩田 弘・黎明社 1966)

『マルクス主義の今日的課題』(岩田 弘編・林書店 1966)

『激化する世界危機と現代革命 マルクス主義の今日的課題』(岩田 弘編・両地社 1969)

『現代国家と革命』(岩田 弘・現代評論社 1971)

『現代社会主義と世界資本主義』(岩田 弘・批評社 2006)

『世界資本主義』(I・II)(岩田 弘・批評社 2006)

『長崎社研の教訓と革命的マルクス主義者の道』(赤碕次郎・長崎造船社会主義研究会 1966)

『現代革命の世界』(小山弘健、佐藤浩一・有信堂 1971)

『工場闘争と労働者管理』(川上忠雄、佐藤浩一、戸塚秀夫・社会評論社 1975)

『工場占拠と労働者管理』(川上忠雄、佐藤浩一・社会評論社 1975)

『経済学入門』(坂内 仁・五月社 1977)

『工場を労働者の手に 労働者管理の思想と戦略』(川上忠雄、佐藤浩一・五月社 1978)

『労働者管理と社会主義』(川上忠雄、佐藤浩一・五月社 1979)

『労戦統一 労働運動右傾化の構造』(佐藤浩一・五月社 1980)

『社会観の選択 マルクスと現代思想』(佐藤浩一、成島道官他・社会評論社 1987)

『現代日本論を解体する』(坂内 仁・御茶ノ水書房 1991)

『叛乱論』(長崎 浩・合同出版 1969)

『結社と技術』(長崎 浩・情況出版 1971)

『政治の現象学あるいはアジテーターの遍歴史』(長崎 浩・田畑書店 1977)

『革命の問いとマルクス主義』(長崎 浩・鹿砦社 1983)

『日本の過激派』(長崎 浩・海燕書房 1988)

『世紀末の社会主義 変革の底流を読む』長崎 浩・筑摩書房 1990

『叛乱の六〇年代 安保闘争と全共闘運動』(長崎 浩・論創社 2010)

『革命の哲学』(長崎 浩・作品社 2012)

『日本の学生運動-その理論と歴史』(門松暁鐘他・東大学生運動研究会編・新興出版社 1956)

『現代資本主義論への一視角』(社会主義研究会・門松暁鐘・レボルシオン社 1964)

『マルクス主義の成立過程』(廣松 渉・至誠堂 1968)

『マルクス主義の地平』(廣松 渉・勁草書房 1969)

『現代革命論への模索』(廣松 渉・盛田書店 1970)

『唯物史観の原像』(廣松 渉・三一新書 1971)

『新左翼運動の射程』(廣松 渉・ユニテ 1981)

『東欧激変と社会主義』(廣松 渉・実践社 1994)

雑誌『研究 論叢』創刊号(現代イデオロギー研究会 1964)

『可能なるコミュニズム』(柄谷行人他・太田出版 2000)

『MAN原理』(柄谷行人・太田出版 2000)

『世界共和国へ 資本=ネーション=国家を超えて』(柄谷行人・岩波新書 2006)

『世界史の構造』(柄谷行人・岩波書店 2010)

『「世界史の構造」を読む』(柄谷行人・インスクリプト 2011)

『政治と思想 1960-2011』(柄谷行人・平凡社 2012)

●NAM(NEW ASSOCIATIONIST MOVEMENT).....2000=2003年

●社会主義青年運動(SM).....61年・千葉正健・新井忠雄

内部機関誌『革命的サンガ』第1号~(社会主義青年運動..)

「われわれの運動の出発に際して」(明智秀胤 1961)

『街頭デモストレーションについて』(社会主義青年運動 1961)

「ゲリラ戦から始めよ」(千葉正健・『情況』1972年11月号)

「日本における革命の現在の地平(上・下)」(千葉正健・『序章』11・12号 1973)

機関誌『銃声』第1号~〇号・号外(2・15 銃打銃ゲリラ闘争支援委員会・『銃声』編集委員会 1972~)

●**社会主義学生同盟再建準備委員会**……………**61年・中村光男・樺地茂樹**

機関紙「希望」1号(社会主義学生同盟 1961)

機関誌『SECT6』第1号～3号(第1号『SECT NO6』社学同全国事務局 1961～1962)

パンフ『SECT6』第1号・2号(社学同全国事務局 1962)

『SECT6+大正闘争資料』(蒼氓社 1973)

『SECT6+大正闘争資料(増補決定版)』(JAC出版 2009)

機関紙「烽起」第1号～〇号(社学同東京大学支部委員会 1961～)

●**社会主義学生同盟(全国執行委員会)**……………**62年通称・第三次社学同(三上 治・川口寛久)**

機関誌『理論戦線』復刊第1号～復刊3号(社学同全国執行委員会 1963～1964)

●**社会主義学生同盟**……………**63年・通称・「独立社学同」(三上 治・古賀 暹・斉藤克彦)**

機関誌『争鳴』第1号～〇号

●**社会主義学生同盟(マルクス・レーニン主義派)**……………**63年=通称・社学同ML派**

機関紙「赤光」第1号～53号(社会主義学生同盟(マルクス・レーニン主義派) 1965～1969)

機関紙「社学同通達」第1号～(社会主義学生同盟(マルクス・レーニン主義派) 1965～)

機関誌『革命の砦』創刊号～(1963)

●**マルクス・レーニン主義者同盟(共産主義者同盟再建大会実行委員会)****63年・浩雪彦・今井澄・豊満 清**

機関誌『マルクス・レーニン主義』第1号・2号(マルクス・レーニン主義者同盟 1963・1964)

……………

●**共産主義者同盟**……………**64年・ML主義者同盟+社会主義青年運動+電通労研**

機関紙「赤旗(せつき)」第1号～〇号(共産主義者同盟 1963～1965)

●**社会主義労働者同盟**……………

機関紙「斗旗」第1号～

**(四)日本マルクス・レーニン主義者同盟・島山憲克・浩 雪彦・豊満 清・今井 澄・68年=通称・ML派**

機関誌『マルクス・レーニン主義』第1号(レポルシオン社 1970)

機関紙「赤光」第54号～〇号(レポルシオン社 1968～1970)

機関誌『長征』第1号・2号(日本マルクス・レーニン主義同盟労働者組織委員会 1971)

機関誌『アジア革命』第1号～(アジア革命研究会 1970)

機関紙「南部の旗」第1号～(南部地区解放戦線 1969)

「日本マルクス・レーニン主義者同盟(ML同盟)結成宣言」(「赤光」54号 1968『新左翼理論全史』)

『太陽と嵐と自由と一ゲバルト・ローザ闘争の手記』(柏崎千枝子・ノーベル書房 1969)

『11月決戦(70年代権力闘争の大激動に向けて進撃を開始せよ!)』(全国解放戦線書記局 1969)

『帝大解体の論理—日本革命と全共闘運動』(林 麟次郎・西日本出版 1969)

『討議資料 人民総武装6月決戦』(ML同盟・レポルシオン社 1970)

『日本・アジア革命論』(鈴木迪夫・倉島 昇・レポルシオン社 1970)

『戦後税政の終焉』(三戸部貴士・昴印刷 1991)

**(Ⅳ)共産主義者同盟(「マルクス主義戦線」)・関係**

●マルクス主義戦線委員会(マル戦派)……………62年

●共産主義者同盟……………64年

機関誌『マルクス主義戦線』創刊号～14号(マルクス主義戦線編集委員会・共産同・黎明社 1962～1964)

機関誌『プロレタリア通信』第1号～29号?(共産同政治局 黎明社～1965)

機関紙「黎明」第1号～75号(共産主義者同盟・黎明社 1964～1966)

『日韓会談—それは日本帝国主義の侵略と抑圧の第一歩である』(黎明叢書1黎明社)

『世界資本主義の危機の成熟と社会主義日本革命の国際的任務』(黎明叢書2)

『革命綱領とは何か—原則綱領・戦略綱領・戦術綱領』(黎明叢書3・岩田 弘 1965)

『長崎社研の教訓と革命的マルクス主義』(赤崎次郎 1966)

●社会主義学生同盟(全国委員会)……………65年

機関誌『理論戦線』第1号～〇号

●社会主義青年労働者同盟……………

機関誌『夜明け』1号～〇号

●全日本青年教師集団……………

機関紙「教育労働者戦線」第1号～

●社会主義労働者戦線……………65年・共産同マル戦派+革共同全国委+長崎社研

『意志表示 社会主義労働者戦線結成によせて』(社会主義労働者戦線 1965)

**(Ⅴ)関西フロント・関係**

『認識論』(藤本進治・青木書店 1957)

『革命の哲学』(藤本進治・青木書店 1964)

『マルクス主義とは何か』(藤本進治・大阪大学新聞会 1964)

『マルクス主義と現代』(藤本進治・せりか書房 1967)

『革命の弁証法』(藤本進治・せりか書房 1968)

『革命闘争の論理』(藤本進治・合同出版 1969)

『根拠への闘争』(藤本進治・せりか書房 1972)

『革命の経済学』(藤本進治・せりか書房 1976)

『資本論の哲学』(藤本進治・ユニウス 1987)

●共産主義者同盟関西地方委員会……………議長一今泉正臣・書記長一小川 登60年～61年

機関誌『革命の理論』第1号～3号(共産同関西地方委員会教宣部・長尾弘夫 1961)

『綱領への前進』第1集・2集(共産同関西地方委員会教宣部・花井 正 1960)

機関紙「プロレタリア革命」第1号～(共産同関西地方委員会労対部 1961～)

●共産主義者同盟全電通関西グループ……………長尾弘夫

機関紙「革命の通信」第1号～

●労働者協会……………61年

機関誌『烽火』創刊号～8・9合併号(1961～1962)

機関紙「新左翼」第1号～(共産同関西労働者対策部労働者協会 1961～)

●(関西)共産主義者同盟……………62年

機関誌『共産主義』(『烽火』改題)10～16号(1962～1964)

機関紙「烽火」第1号～45号(1962～1965)

『われらの対立 共産主義者同盟と日本共産党』(佐々木和雄・烽火編集局 1965)

『新左翼運動資料』NO1(社学同関西地方委員会・(関西)共産主義者同盟 1965)

『プロレタリア独裁への道Ⅰ』(共産同関西地方委員会・田原 芳 1966)

●共産主義者同盟関西地方委員会……………66年～

機関誌『烽火』復刊1号～11号(共産主義者同盟関西地方委員会 1966～1968)

機関誌『攻撃』No1(共産同関西地方委員会編 1968)

機関誌『烽火』再刊1号(共産主義者同盟関西地方委員会 1970)

機関誌『理論戦線』第1号～〇号(共産同京都大学支部 1966～)

機関紙「鉄鎖を砕け」第1号～〇号(共産同京都大学支部 1967～)

『鉄鎖を砕け』(共産主義者同盟「烽火」編集委員会 1970)

『チェコをめぐる情勢とわれわれの任務』(共産同関西地方委員会・高見沢洋一 1968)

『坂井與直著作集』(高見沢洋一・坂井與直著作集刊行委員会・自主出版 1986)

『田原芳論文集 プロレタリア独裁への道』(Ⅰ・Ⅱ)(復刻刊行委員会・自主出版 2005・2006)

●共産主義者同盟和歌山労働者集団(和歌山フント)……………

機関誌『変革者』第1号～

●社会主義学生同盟関西地方委員会……………58年

機関誌『戦士』第1号～6号・臨時号・号外(社学同関西地方委員会・社会主義研究会—竹内陽— 1963～1969)

機関誌『戦士』復刊7号(共産主義青年同盟関西地方委員会 1970)

機関紙『紙の弾丸』第1号～2号？(社学同同志社大支部…1961)

機関紙「理論戦線」第1号～〇号(社学同京大支部…)

機関紙「戦闘への招待」第1号～〇号(社学同大阪市大支部…)

機関紙「学生戦線」第1号～〇号(社学同大阪市大支部…)

機関紙「火花」第1号～〇号(社学同大阪大学支部…)

機関紙「反帝戦線」第1号～(社学同大阪市大支部…)

『新たに戦列に加わる諸君へ』(社学同関西地方委員会 1963)

『文化大革命と世界革命』(社学同京大支部・石川 明＝上野勝輝 1967)

●電通労働運動研究会……………62年

機関誌『電通労研』第1号～11・12号(1962～1969)

機関紙「大阪労研」第1号～50号(電通労働運動研究会・大阪労研)

●平和台病院労働組合・共同闘争委員会……………70年

機関誌『「白衣の監獄」を解放するぞ!』第1号～6号

『「白衣の監獄」を解放するぞ!—平和台病院闘争の記録』(柘植書房 1977)

●阪神地区共産主義者協議会…代表—長井一男・事務局長—清田祐一郎・杉本昭典・師岡裕行・67年

機関誌『斗いの旗』発刊準備号(1967・4・1)

『時代に抗する—ある「活動家」の戦後期』(杉本昭典・航思社・自主出版)

『杉本昭典 尼崎の政治・労働運動』(前田裕晤監修・鹿砦社 2015)

●神戸地区反戦連絡会議……………68年

機関誌『戦士』第1号～7号(神戸地区反戦連絡会議 1968～1973)

機関紙「火砲」第1号～〇号(神戸地区反戦連絡会議・)

●北大阪反戦青年委員会……………66年

機関紙「北大阪反戦青年委員会連絡報」NO1～

機関紙「北大阪反戦ニュース」NO1～〇(北大阪反戦青年委員会 1966～)

『この土地と空を侵略の血でそめるな!』(北大阪反戦青年委員会、3・10成田闘争代表団 1968)

●堺反戦青年委員会……………(柳田健・高幣真公 68年)

機関誌『反戦』NO1(1968)

●関西地区反戦連絡会議……………(議長—前田裕晤・事務局長—清田祐一郎・67年)

機関誌『叛乱』第1号・2号(関西地区反戦連絡会議 1968～)

『原子力空母寄港を許すな』(関西地区反戦連絡会議 1968)

『労働者もヘルメットをかぶった』(関西地区反戦連絡会議 1968)

『塩水港闘争資料集』(労働者共闘会議 1969)

『7・9 運動』(7・9 運動 1969)

『中電マッセンストライキはいかに形成されたか』(無署名 1969)

『第三の蜂起 羽田—安田岩—中電 中電闘争の記録』(中電ストライキ実行委員会 1969)